

# 不要品リユース事業「おいくら」と連携開始

不要品をごみとして処分する前に、リユースを検討しませんか？

主催	加古川市、株式会社マーケットエンタープライズ
日時	令和6年3月18日（月）
場所	－
内容	<p>3Rを推進し循環型社会の形成を目指すため、不要品の売却が可能なネット型リユースプラットフォーム「おいくら」を運営する株式会社マーケットエンタープライズと連携協定を締結しました。</p> <p>「おいくら」は複数の加盟リユースショップの買取価格をまとめて比較し手間を減らして不要品を売却できるサービスです。買取可能な品に限りますが大型家具から家電、家電リサイクル法対象製品や趣味嗜好品まで幅広い品が対象です。 ※全ての不要品が売却できるとは限りません。</p> <p>（ <input type="checkbox"/> 初めて ・ 恒例 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 回目 ）</p>
対象（参加者）	不要品の処分を検討している市民
定員	－
参加費	－
申込先・方法	リユースプラットフォーム「おいくら」にてユーザー登録し不要品の査定を依頼する。
目的・背景 その他	<p>環境への負荷が少ない循環型社会の構築に向けて、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を推進しているところですが、本協定はごみ処理量の削減と循環型社会の形成を目的としています。</p> <p>まだ使用できる不要品を売却することで、リユース活動が促進され、ごみ処理量の削減と市民の環境意識の向上に繋がります。</p>
市ホームページ	掲載済み ・ 掲載予定（3月18日） ・ 掲載しない
広報かこがわ	●月号に掲載 ・ ●月号に掲載予定 ・ 掲載しない



加古川市 環境政策課 循環型社会推進係（担当：山田）  
☎ 4 2 6 - 5 4 4 0（内線 2725）



報道関係者各位

2024年3月18日

兵庫県加古川市

株式会社マーケットエンタープライズ

## 兵庫県加古川市が引越しシーズンを前に 不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始 ～新リユース施策によるリユース推進と廃棄物削減へ～

兵庫県加古川市(市長:岡田 廉裕)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、2024年3月18日(月)より連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、加古川市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



### ■背景・経緯

加古川市では、2022年度より稼働開始となる広域ごみ処理施設「エコクリーンピアはりま」の処理能力に合わせ、「加古川市27万人の力で20%ごみ減量を！」をスローガンにごみ減量を進め、2021年度末には、2013年度比25.4%の減量を達成いたしました。しかし、持続可能な社会を実現するためには、継続的に減量を行ない、更なるごみの減量を目指す必要があります。そこで、市では、これまで民間事業者と連携し、使わなくなった家具などのリユース促進事業を行なうことに留まらず、並行して、より一層のリユース促進を目的とした新たな施策の導入を検討しておりました。

他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動进行するなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。そうした中で、マーケットエンタープライズが加古川市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2023 年 10 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

#### ■加古川市の課題と「おいくら」による解決策

加古川市では、粗大ごみの戸別有料収集を行なっておりますが、大型の物や重量のある物でも、市民が屋外に自力で運び出す必要があります。また、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象の4品目については、市では収集することができないことから、「自宅の中から不要品を運び出してほしい」・「家電リサイクル法対象の製品も回収してほしい」という市民の声が寄せられておりました。「おいくら」は、大型品や重量のある物でも、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能です。加えて、まだ利用できるものであれば、家電リサイクル法対象製品の買取も可能で、不要品売却と受け渡しは、最短であれば「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民がサービスを利用する際の費用負担はもちろん、加古川市の費用負担もありません。

#### ■今後について

3 月 18 日(月)15 時(公開時間が前後する可能性があります)より、加古川市ホームページ内

(<https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyobu/kankyodaiichika/sodai/1480576362267.html>)

に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。加古川市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

## ■兵庫県加古川市

加古川市は、播磨灘に面し、播磨平野を貫流する兵庫県下最大の一級河川「加古川」流域の最下流部に位置しています。市域北西部の山地・丘陵部は、播磨中部丘陵県立自然公園に指定されており、東部は、印南野台地に連なる河岸段丘地形で、農業用ため池が多く見られます。かつては、中部から南部にかけて、加古川の氾濫原・砂州・三角州などの湿地でしたが、河川改修により広い平野となり、現在は市街地が広がっています。臨海部は、埋め立てられ、大規模工場が立地しています。

人口：256,078人(男 124,786人、女 131,292人)(2024年2月1日)

世帯数：109,764世帯(2024年2月1日)

面積：138.48平方キロメートル(2024年2月1日)

ウェブサイト：<https://www.city.kakogawa.lg.jp/>

## ■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ710万人を達成しました。加古川市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で112にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

### 【報道関係者からのお問合せ先】

加古川市に関すること

加古川市 環境部 環境政策課 循環型社会推進係

担当：山田

Tel: 079-426-5440 Mail: [kan\\_seisaku@city.kakogawa.lg.jp](mailto:kan_seisaku@city.kakogawa.lg.jp)

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR担当：立花

Tel: 03-6675-3923 Mail: [pr@marketenterprise.co.jp](mailto:pr@marketenterprise.co.jp)